

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～19℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の71%（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の25%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり47kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.4トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり26kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり66kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり2トンの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり約2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり296kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり114kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり55kgの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり21kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/4日～4/9日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚げ休漁となった。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」

漁海況の情報は、「漁海況情報」から「漁海況週報」、「漁海況通信」でご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>